

はなの輪

広島市植物公園植物友の会

2020年4月-6月 通巻第163号



園長のおすすめ 2019年5月14日子より

バラ 聖火 Rose SEIKA [The Olympic Flame], HT, 1966.

「聖火」は、1964年の東京オリンピックを記念して命名、登録された大輪のバラです。咲き進むにつれて花弁を縁取る紅色が変化する様子は、燃えあがる炎を連想させます。1971年には国際的コンテストで金賞を受賞するなど、世界に誇れる日本の品種です。

(園内位置：バラ園)

[写真・文 世羅 徹哉]

園長のおすすめ

植物公園ブログでは、園長のおすすめを定期連載中です。

見ごろの植物や最新のイベント情報も掲載しています。



<https://blog.hiroshima-bot.jp>



バレンタインフェスティバル

2月14日はバレンタインデー。女性が意中の男性にチョコレートを贈る日として、すっかり定着しました。職場等で配る義理チョコの他にも、近年では女性間で贈る友チョコや頑張った自分に対するご褒美で購入する人もいます。大人だけでなく、子どもも大好きなチョコレート。しかし、どの植物の何をどのように加工してチョコレートになるかは、知らない人も多いのではないのでしょうか。今回はバレンタインフェスティバルについて紹介します。

植物公園の今年のバレンタインフェスティバルは2月8日（土）～11日（火・祝）の4日間の日程で様々な催しを行いました。

8日と9日の両日は「チョコ専用石うすショコラミルによるチョコ製造体験」を開催しました。チョコレートはカカオという植物の実の中にある種子が原料になるのですが、この体験会では、多くの子どもが石うすを回してカカオニブ（ローストしたカカオの種を砕き、皮を取り除いたもの）をとろとろのチョコレートにしました（正確にはチョコレートではなくカカオリカー）。重くて回すのに苦労する子どももいれば、チョコレートが出てきて歓声を上げる子どもも。話だけではすぐ忘れてしまうことも、体験を伴うと記憶としてはっきり残ります。子どもには良い体験になったと思います。ひょっとすると、今回体験した子どもの中から、将来ショコラティエが誕生するかもしれません。

11日の最終日には広島大学名誉教授の佐藤先生による「チョコのサイエンスロマン」と題したチョコレートに関する講演会が行われました（写真1）。講堂一杯になるほどの参加者があり、大いに賑わいました。チョコレートに対する関心の高さが伺われ、2月は厳寒月ということで入園者が少ないのですが、この日は千人を超える1日となりました。

4日間の期間中、99本のバラの花束を持って記念撮影するコーナーも設けました。きりの良い100本ではなく、なぜ99本？と当初思ったのですが、99本の赤いバラには「永遠の愛」の意味（花言葉）があるようです。カップルで撮影に臨まれる方はもちろん、家族で撮られる方もおられ、見ていて微笑ましいシーンでした。

なお、欧米等ではバレンタインデーに男性が女性に花を贈る習慣が定着しているようですが、近年日本でもこの習慣（フラワーバレンタイン）が徐々にではありますが広がってきています。そこで、今年は花束を持ったカープの大瀬良選手の等身大パネルが初登場（写真2）。パネルはスマートフォンの撮影では、大瀬良選手本人がその場にいたと見間違ふほどの出来栄です。99本のバラの撮影コーナーと合わせ多くの方が写真を撮っていました。春の特別ラン展に続く、2月の大きなイベントになったと実感した4日間でした。

[写真・文 高井 敦雄]



写真1. 講演会の様子



写真2. 大瀬良投手の等身大パネル

2020年4月～6月 展示会・イベント案内

3/28～4/19
の土日

さくらまつりは中止となりました。

5/4 (月・祝)

みどりの日・植物園の日記急行事

入園料無料（要駐車料）。花苗のプレゼント（先着1000名）、オリエンテーリングやコンサートなどのイベントも開催。

5/9～5/24
の土日

ローズフェスティバル

オールドローズを中心に、県内最多の850品種のバラがお出迎え。講習会やガイドツアーなどのイベントも開催。

展示会のご案内

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、展示会・イベントを中止・延期する可能性があります。

ゼラニウム展		未定～ 4/22	展示温室
おし花美術作品展	共催：おし花美術研究会	4/ 4～ 5/ 6	展示資料館
サクラソウ展	協力：植物友の会植物同好会	4/15～ 4/22	屋外展示場
エビネ展	共催：安芸えびね研究会	4/25～ 4/29	展示温室
春の山野草展	共催：広島山草同好会	4/25～ 4/30	屋外展示場
春の洋ラン展	協力：広島洋蘭倶楽部 他	5/ 2～ 5/ 7	展示温室
クレマチス展	共催：日本クレマチス協会広島支部	5/ 2～ 5/ 7	屋外展示場
セッコク・長生蘭展	共催：瀬戸内セッコク愛好会	5/ 9～ 5/14	展示温室
趣味のボタニカルアート展	共催：花も実もある会	5/ 9～ 6/ 4	展示資料館
ハーブ展	協力：ハーバルアソシエーション	5/16～ 5/28	展示温室
遅咲きクレマチス展	共催：日本クレマチス協会広島支部	5/16～ 5/20	屋外展示場
セントポーリアとイワタバコの仲間展		5/30～ 6/11	展示温室
アジサイ展		5/30～ 6/21	屋外展示場
初夏の小品盆栽展	共催：広島小品盆栽会	6/ 6～ 6/ 8	展示資料館
ボタニカルアート作品展	共催：NHK文化センター ボタニカルアート教室	6/10～ 7/16	展示資料館
ウチョウラン展	共催：広島ウチョウラン保存会	6/13～ 6/18	展示温室
夏のカラフルリーフ展		6/24～ 7/12	展示温室

Event Information 2020 4-6

植物園で開催されるイベントを紹介します

4 月

季節の花物語「サクラソウ」

4月19日(日) 午後1時半～

春の山野草実演会

4月26日(日) 午後1時～2時

エビネ実演会

4月26日(日) 午後2時半～3時半

5 月

クレマチス実演会

5月3日(日・祝) 午後1時半～2時半

はなのわ2020記念講演会

5月3日(日・祝) 午後1時～2時半

うらら池自然散策

5月9日(土) 午後1時半～2時半

セッコク実演会

5月10日(日) 午後1時半～2時半

ハーブ展解説

5月16日(土) 午前11時～

ハーブ実演会

5月17日(日) 午前11時～正午

ギャラリートーク [趣味のボタニカルアート展]

5月17日(日) 午後1時半～3時半

区民ウオーキング大会 (要事前申込)

5月23日(土) 午前9時～

バラ講習会

5月24日(日) 午後1時半～3時

季節の園芸講座

5月30日(土) 午後1時半～

6 月

モリアオガエル観察会

6月6日(土) 午後1時半～

小品盆栽実演会

6月7日(日) 午前11時～正午

草笛体験会

6月7日(日) 午後1時～3時

アジサイ実演会

6月7日(日)・13日(土) 午後1時半～2時半

ハナショウブ実演会

6月14日(日) 午前11時～正午

- *毎週土・日曜日・祝日 午後1時半～3時20分は、ガイドボランティアが園内を案内しています*
- *毎月第2火曜日・第4土曜日 午前11時～は、園内で職員による植物うんちくガイドを実施しています*
- *毎月第2日曜日 午前11時～と午後1時半～は、園内でジュニアプロジェクトを実施しています*

5/3(日・祝)

13:00～14:30



ひろしまはなのわ2020

記念講演会

「よみがえった被爆地の花とみどり」

広島大学名誉教授
第37回全国都市緑化ひろしまフェア懇談会会長

講師:中越 信和 先生

「75年間草木も生えぬ」と言われた廃墟の街によみがえった広島緑には市民の篤い思いが込められています。例えば、市民の供木運動によって整備された平和大通り。本講演では、都市緑化フェアを記念して景観生態学の専門家である中越先生に広島街づくりと緑についてお話いただきます。



令和2年度新企画

- ・ **季節の花物語** (4/19、8/1、9/22、令和3年2月 [日付未定] 午後1時半～)
- ・ **季節の園芸講座** (5/30、7月・10月 [日付未定] 午後1時半～)

2つの講座が始まります。花物語では植物に関する秘話を披露し、園芸講座では、草花を育てるためのとっておきの方法を解説します。年間シリーズで本園のベテラン職員が講師を務めます。

Plant Doctor Q&A

植物公園では、緑の相談窓口を設置しています。
家庭園芸のお困りごと、何でもご相談ください。
[☎082-922-3600 金曜を除く午後1時～4時]

Q. 育てているコウモリラン（ピカクシダ）をよく腐らせてしまうのですが、どうしたらいいですか？

A. 鉢植えにしても、苔玉や板付けの状態にしても、植込材が湿っているか手で触れて確認して水やりをしてください。栽培環境にもよりますが、鉢や苔玉では乾きにくいです。どうしても水やりが不安な場合は、板付けがオススメです。板付けの場合は、株下の水苔が乾き始めていたらたっぷり水をあげます。貯めた水に1分程度、株ごと沈める方法もあります。何れの場合も、しっかり湿らせた後は蒸れないようにしっかりと乾かしましょう。たっぷり水をやり、胞子葉が萎れかけるくらいまで乾いてから再び水をたっぷりやる、といった乾湿を繰り返すと元気に成長します。

サーキュレーター等で弱い風を当ててあげると、植込材が乾きやすくなる上に、植込材内の空気が循環するので元気に成長します。週に2～3回程度の水やりをする環境がベストです。冬場、10℃を保てない場合は、より乾かし気味に水やりします。

ただし、マダガスカリエンセ（*Platyserium madagascariense*）は、特に小さい株の場合、腰水をするなどして植込材が乾燥しないように管理します。

[文 堀川 大輔]

Q. アサガオの種をまいたのにほとんど発芽しませんでした。なぜですか？

A. まず、アサガオの種を見てみましょう。アサガオの種は、種皮が硬く吸水しにくいいため、そのまま植えても発芽しなかったり、発芽しても時期がそろわないことがあります。

そこで、アサガオをうまく発芽させるためには、“芽切り”という作業が必要になります。芽切りとは、カッターや紙やすりなどで種に傷をつける作業です。傷がついた種は、土中で十分吸水できるようになるため、発芽しやすくなります。へそ（発芽する部分）を傷つけないように気をつけながら、種の白い部分が少し見えるまで削ってあげましょう。なお、アサガオは25℃前後でよく発芽するので、十分に暖かくなってから種をまくとよいでしょう。



また、アサガオのなかには、突然変異によって葉や花の形が変化した“変化朝顔”という大変珍しいものがあります。変化朝顔の歴史は古く、幾多の変遷の中で多くの愛好家によって栽培され、今日の「園芸文化」として受け継がれています。植物公園では、その貴重な種子を保存しており、今夏も展示を予定しています。ぜひ、お越しください。

[図・文 山本 晃弘]

Q. 自宅で長く保存していた種をまいても発芽しませんでした。中から小さい赤銅色の虫が出てきたのですが、これは何でしょうか？

A. 出てきた虫はシバンムシと呼ばれる虫になります。体調2mm程度の甲虫で世界各地に生息し、日本では62種類が知られています。赤褐色や黒色、茶色の体色を持っており、温かい室内などでは周年見られます。屋外では5～6月から11月にかけて見ることができます。食害するものは乾物をはじめとする食品や建築材、畳、書籍など広く食害します。漢字では「死番虫」と書き、雌雄が頭部を建材などに打ち付けてコミュニケーションします。姿は見えないのに音だけするため、死神の持つ時計の秒針のように思われたところが名前の由来です。

防除は、耐性が非常に強く、農薬などなかなか効きづらいため、掃除やガムテープなどで見つけ次第捕獲したり、駆除業者などに頼ることになります。また、顎の力も強く、薄い包装は噛み破ってしまうので、食品などの保存には注意が必要です。薬剤などでの防除は困難ですので、薄い袋ではなく、厚い袋に保存する、長い間保存しないなどの工夫をして、虫を発生させないように工夫をする必要があります。

[文 田川 朋男]

ワレマチス展・遅咲きワレマチス展 5/2~7、5/16~20



展示会の様子



クレマチス 雪おこし



クレマチス マダム・ジュリア・コレボン

西日本有数の規模を誇る本展示会は、例年150品種200点規模の出品があります。前期のクレマチス展では大輪系の園芸品種を中心に展示し、遅咲きクレマチス展ではヴィチセラ系などの珍しい品種も展示します。5月3日午後1時半からの実演会では抽選でプレゼントもあります。

ハナショウブ & アジサイまつり 5/30~6/21の土日



ハナショウブ園の様子



菖翁花 王昭君



菖翁花 蛇籠の波



ヒメアジサイ



ヤマアジサイ 愛染



アメリカノリノキ アナベル

ハナショウブは日本を代表する古典園芸植物です。本園には、江戸時代後期に旗本の松平左金吾定朝（菖翁）によって作出された貴重なハナショウブを18品種保有しています。また、屋外展示場にはヤマアジサイや園芸アジサイなど見ごろのアジサイの鉢を展示します。関連イベントとして、アジサイ・ハナショウブの栽培実演会やお茶会、モリアオガエル観察会などを行います。

4月～6月に見ごろを迎える植物



チューリップ
(カスケード・花の進化園)



キモッコウバラ (一重)
(ログガーデン)



クリムソクローバー
(花の進化園)



マイヅルソウ
(ロックガーデン)



コマクサ
(ロックガーデン)



エビネ
(日本庭園奥)



オランダボダイジュ (セイヨウシナノキ)
(香りの小径入口・三叉路)



ムユウジュ
(大温室)



フジ
(休憩展望塔前)



コーヒーノキ
(大温室)



カカオノキ
(大温室)



マクロザミア・ファウセチイ
(サボテン温室)

桜・バラ・アジサイ・ハナショウブの他にも、植物公園の春は紹介しきれないほどの花が園内で咲き競っています。樹林観察園や香りの小径など、少し奥まで散策してみると思わぬ発見があるかも。ひろしまはなのわ2020関連イベント・展示もお見逃しなく！ [写真・文：久保晴盛]

バラの開花習性について

バラには一季咲き性、返り咲き性、四季咲き性の品種があることが知られています。一季咲きは文字通り一年に1回しか咲かないので、誰にでも直感的に理解しやすいのですが、返り咲きと四季咲きの本質的な違いが何であるかは、あまり理解されているとは言い難い状況です。一部の業者が、返り咲き品種であるにもかかわらず四季咲き性と表示して販売していることも、混乱に拍車をかける要因となっています。

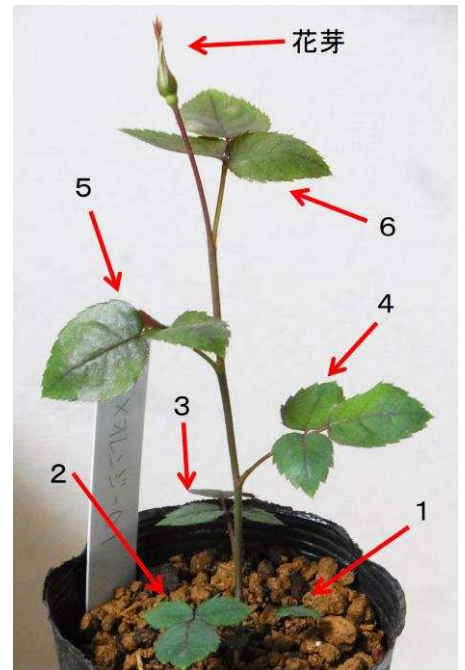
しかし、開花習性をよく観察すれば、返り咲きと四季咲きは厳密に区別することが出来ます。写真は四季咲き性の実生株で、本葉が6枚に達したところで花芽がついています。四季咲き性とは、シュートがある葉数に達したところで必ず花芽が形成される性質のことをいいます。品種や株のコンディションにより、4枚から10枚程度と葉数に幅がありますが、平均的には7枚前後のことが多いです。この性質は、種子から発芽したばかりの未熟な幼株とて例外ではなく、必ず一定の葉数で花芽が形成されます。花芽が形成されるとシュートの伸長が止まるため、木立樹形となります。四季咲き性のつるバラが欲しいとの声はよく耳にしますが、上記の性質を知っていれば、理論的にあり得ないものです。

一方、返り咲き性の品種では、花芽形成に至る葉数が一定ではありません。春の1番花こそ、どのシュートも7枚前後で開花しますが、それ以降の返り咲きシーズンでは、数枚で開花に至るシュートがある一方、10数枚を超えても開花に至らないシュートも同じ株に発生します。花芽を着けずに伸び続けるシュートが混在するため、シュラブ樹形になることが多いです。なお、返り咲きの頻度は品種によって差異があり、秋遅くまでほぼ途切れなく開花するものもあれば、季節外れに思い出したようにポツリと1輪咲く程度のもまであります。

遺伝学的には、中国原産のコウシンバラが決まった葉数で開花に至る四季咲きの性質を持っていて、現在の四季咲き品種は全てコウシンバラの子孫にあたります。年に複数回咲く性質で他種由来のものは、全て返り咲きです。

バラは、開花習性の違いによって剪定法が異なります。特に一季咲きの品種を四季咲き品種向けの方法で剪定すると咲かなくなることがあります。(具体的な剪定法については専門書等をご覧ください。)

身近にバラがあったら、シュートの葉が何枚になったら花芽が形成されるか、また、花芽形成までの葉数の違いが樹形にどのような影響を及ぼすのか、ぜひ観察してみてください。



写真：四季咲きバラの実生の開花習性

写真内の番号は、発芽後に本葉の順番を示す。この株のシュートは、6枚の本葉が展開した後に花芽を付けている。

[写真・文 泉川 康博]



広島市佐伯区倉重三丁目495

☎ 082-922-3600 📠 FAX 082-923-6100

- 開園時間 午前9時～午後4時半 (入園は4時まで) ■休園日 毎週金曜日
- 入園料 大人510円、高校生および65歳以上170円、中学生以下無料
- 駐車料 軽・普通自動車450円、中・大型車1,400円

